

間隙水圧測定の目的と概要

目的

- 粘性土地盤の圧密進行度合いの検討
- 斜面安定性検討：切土、盛土
- 掘削地盤の安定性検討（ボイリング、ヒービング）：根切り工事
- 地中掘削時の安全性検討：シールド工事など
- 地すべり地の安定性検討
- 地下水位（水圧）の確認や有効土被り厚の推定 等

概要

- ケーシングまたは地中に計器を設置して、土粒子間の間隙水が持つ圧力を測定する

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

間隙水圧計の測定方法

タイプ	名称	先端集水部	計測対象	方式	計測期間	適合性	
						粘性土	砂質土
開放型	ケーシング法	ストレーナ	水位面	触針式水位計	短期	×	○
				フロート式水位計 超音波式水位計	長期		
		水圧	電気式間隙水圧計				
		裸孔	水位面	触針式水位計	短期		
	シングルチューブ法	フィルター	水位面	触針式水位計	長期	△	○
水圧	マノメータ式 ブルゾン管式		長期	○	△		
閉鎖型	ダブルチューブ法	フィルター	水圧	ひずみゲージ式	短期・長期	○	△
	電気式			カールソン式			
				摺動抵抗式			
				差動トランス式			
				振動弦式			
	半導体式						

○:最適 △:適 ×:不適

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成